

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都駅八条口前ホテル計画(西敷地)	階数	地上10F
建設地	京都市下南区東九条上殿田町44番地	構造	S造
用途地域	地域, 防火地域	平均居住人員	950 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年11月2日
敷地面積	2,800 m ²	作成者	堀 浩人
建築面積	1,663 m ²	確認日	2017年11月6日
延床面積	14,099 m ²	確認者	尾田 岳志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 京都駅八条口前にホテルを新築する計画である。通りから植栽越しに見える1階の開口部の建具は、サッシピッチを細かくし格子のような印象を与え、意匠の中に京都らしさを取り入れている。 また、高効率の設備機器の採用によりさらにエネルギー消費量を削減した計画としている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 化学汚染物質について内装材には全面的に規制対象外、告示対象外の建材を採用している。また開口部を多く用いることで昼光率の向上に貢献している。	Q2 サービス性能 更新間隔の長い内外装材、ダクト、配管などを採用し建物耐用性の向上に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に利用者以外も利用できる歩道を計画し、歩道とホテル正面部の間に植栽を設けることで、周辺の街並みに対する配慮を行っている。
LR1 エネルギー Low-eガラスを使用した複層ガラスを採用し、熱負荷低減と客室内の騒音低減に配慮した。 LED等高効率設備を採用しエネルギー消費量の削減を図った。	LR2 資源・マテリアル ユニット部材OAフロアを採用することで、部材再利用性の向上に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される